

第14回日本小児医療政策研究会

我が国のこどもの健康、小児医療のより良い政策を求めて

日時：平成30年4月7日(土) 13:00～18:00

会場：東京慈恵会医科大学大学 新2号館大講堂

世話人：廣瀬伸一（福岡大学小児科教授）

市川光太郎（北九州市立八幡病院院長）

参加費
無料
(どなたでも
参加できます)

■プログラム■

◆13:00～13:10

世話人挨拶

廣瀬伸一（福岡大学教授、国際小児科学会常任理事）

挨拶

高橋孝雄（日本小児科学会会長）

代表幹事挨拶

衛藤義勝（東京慈恵会医科大学名誉教授）

◆13:10～13:30 特別講演Ⅰ

司会 衛藤義勝（東京慈恵会医科大学名誉教授）

我が国の健全なこどもの育成に向けて
加藤勝信（厚生労働大臣）

◆13:30～14:10 特別講演Ⅱ

(1) 最近の母子保健行政の動きについて

司会 高橋孝雄（慶應義塾大学小児科教授）

北澤 潤（厚生労働省子ども家庭局母子保健課長）

(2) 保育体制、待機児童の問題

司会 岡 明（東京大学小児科教授）

巽 慎一（厚生労働省子ども家庭局保育課長）

◆14:10～15:50 ワークショップ(I)

座長 江原伯陽（江原こどもクリニック院長）

廣瀬伸一（福岡大学教授、国際小児科学会常任理事）

①保育現場での課題

折井誠司（誠三保育園園長、東京都社会福祉協議会保育部会副会長）

②保育園児の死亡事例検証報告から

秋山千枝子（あきやま子どもクリニック、日本小児保健学会会長）

③母子保健からみる保育環境

大木幸子（杏林大学保健学部教授）

④医療的ケア児の保育

駒崎弘樹（千代田区 NPO 法人フローレンス代表理事）

⑤パネルディスカッション

15:50～16:00 休憩

◆16:00～18:10 ワークショップ(II)

我が国の小児救急医療は大丈夫か？～家庭看護力醸成から PICU 体制まで～

座長 有賀 徹

(独立行政法人労働者健康安全機構理事、学校法人昭和大学名誉教授)

市川光太郎（北九州市立八幡病院院長）

①病院前救護の原点として家庭看護力醸成へ

市川光太郎（北九州市立八幡病院院長）

②小児一次～二次救急医療体制の地域格差と今後の課題

船曳哲典（藤沢市民病院こども診療センター長）

③成人救命救急医療と連携強化に向けて

西山和孝（諏訪赤十字病院救急科部長）

④PICU の現状と課題

清水直樹（埼玉県立小児医療センター新生児科部長）

◆18:10～18:50 特別講演Ⅲ

司会 山城雄一郎（順天堂大学特任教授）

米国の救急医療—Critical Care の体制—スタンフォード大学病院の体制

Prof. David Cornfield（スタンフォード大学小児科教授）

◆18:50～19:00

総括&閉会の挨拶

市川光太郎（北九州市立八幡病院院長）

主催：日本小児医療政策研究会

後援（予定）：厚生労働省、日本小児科学会、日本小児保健協会、こども難病ネットワーク、NPO 法人日本小児医療政策研究センター

事務局（連絡先）：財 脳神経疾患研究所附属先端医療研究センター&遺伝病治療研究所

〒215-0026 神奈川県川崎市麻生区古沢都古 255 Tel:044-322-9 9 9 1 (内線 3229)

